

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2020年 6月 29日

三重県知事 殿

提出者

住所 三重県員弁郡東員町山田3707番地の1

氏名 株式会社ADEKA 三重工場

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0594-76-2330

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量  
その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社ADEKA 三重工場
事業場の所在地	三重県員弁郡東員町山田3707番地の1
計画期間	2020年4月1日～2021年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	E16 製造業/ 化学工業
② 事業の規模	18,402百万円
③ 従業員数	198名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	添付資料①『産業廃棄物の発生フロー及び排出量等一覧表』を参照して下さい。

(日本工業規格 A列4番)

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

添付資料②『管理体制・社内ルール』を参照して下さい。

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度実績(2019年度)】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。
	排出量	
	(これまでに実施した取組) <ul style="list-style-type: none"> <li>・密閉化による粉じん飛散の削減。(汚泥)</li> <li>・サイクロン設置による製品回収。</li> <li>・濾過助剤汚泥の削減及び脱液方法の向上。</li> <li>・油水分離から濾過法への工程改善による廃アルカリの削減。</li> <li>・廃プラスチックと古紙の分類による廃プラスチックの削減。</li> <li>・工程管理の適正化による不必要な廃棄物の発生抑制。</li> </ul>	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。
	排出量	
	(今後実施する予定の取組) <ul style="list-style-type: none"> <li>・密閉化による粉じん飛散の削減。(汚泥)</li> <li>・サイクロン設置による製品回収。</li> <li>・濾過助剤汚泥の削減及び脱液方法の向上。</li> <li>・油水分離から濾過法への工程改善による廃アルカリの削減。</li> <li>・廃プラスチックと古紙の分類による廃プラスチックの削減。</li> <li>・工程管理の適正化による不必要な廃棄物の発生抑制。</li> </ul> ※これらの取組を今後も継続的に実施していきます。	

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none"> <li>・産業廃棄物の種類 汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック、ガラス陶磁器屑、木屑、燃え殻</li> <li>・分別に関する取組 有償物として利用可能なものが産業廃棄物に混ざらない様に保管場所の管理及び分別教育の実施。</li> </ul>
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 有償物として回収可能な古紙類、金属類等が産業廃棄物と混ざらない様に分別管理の徹底を継続していきます。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項		
①現状	【前年度実績(2019年度)】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	
	(これまでに実施した取組)	
製造工程で使用する各種溶剤は不要物とすれば、廃油に分類される廃棄物であるが、その一部は製造工程に組み込み精製し再生利用している。不要物とは考えておらず、製造工程の付加分と考えている為、カウントしておりません。		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	
	(今後実施する予定の取組)	
特筆すべき新たな取組はありませんが、継続して資源の有効利用に努めます。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項		
①現状	【前年度実績(2019年度)】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	
(これまでに実施した取組)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>産廃焼却炉には廃熱を利用した蒸気ボイラーが備えてあり、工場使用蒸気の凡そ20%を供給。</li> <li>産廃焼却炉による廃油、廃酸、廃アルカリの焼却による減量化。</li> </ul>		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	
(今後実施する予定の取組)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>産廃焼却炉による継続的な廃熱利用と減量化を図ります。</li> <li>産廃処理施設の適正な運転管理を維持します。</li> </ul>		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度実績(2019年度)】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	
	(これまでに実施した取組) 該当せず。	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	
	(今後実施する予定の取組) 該当せず。	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度実績(2019年度)】	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	
	優良認定処理業者への処理委託量	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。
	再生利用業者への処理委託量	
	認定熱回収業者への処理委託量	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
	(これまでに実施した取組) ・最終埋立量の削減のため、再生利用業者の情報収集及び委託先の転換。	

②計画	【 目標 】	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	
	優良認定処理業者への処理委託量	
	再生利用業者への処理委託量	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。
	認定熱回収業者への処理委託量	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
	(今後実施する予定の取組) ・今後も情報収集を行い、資源として有効利用して頂ける処理業者の開拓及び委託先の転換に努めます。	
※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行なうことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行なっている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。
- 7  欄及び※欄は記入しないこと。

} 記入願います  
  
 記入不要です

項目		廃棄物の種類																				合計量 (t)		
		ア 燃え殻	イ 汚泥	ウ 廃油	エ 廃酸	オ 廃アルカリ	カ 廃プラスチック	キ ゴムくず	ク 金属くず	ケ ガラス・コンクリート・陶磁器くず	コ 鋳さい	サ がれき類	シ ばいじん	ス 紙くず	セ 木くず	ソ 繊維くず	タ 動植物性残さ	チ 家畜のふん尿	ツ 家畜の死体	テ 動物系固形不要物	ト 13号廃棄物		ナ 建設混合廃棄物	
現状/計画																								
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	排出量 ①	前年度実績																					0	
		今年度目標	4	1445	1531	1825	988	154		2	4				60								6013	
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 ②+⑧	前年度実績																					0	
		今年度目標																					0	
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 ⑤	前年度実績																					0	
		今年度目標			1470																		1470	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 ⑦	前年度実績																					0	
		今年度目標		1143	1455	852	853																4303	
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分又は海洋投入処分に 関する事項	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 ③+⑨	前年度実績																					0	
		今年度目標																					0	
産業廃棄物の処理の委託に関する事項	全処理委託量 ⑩	前年度実績																					0	
		今年度目標	4	302	75	973	135	154		2	4				60								1709	
	⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量 ⑪	前年度実績																						0
		今年度目標	4	302	75	641	135	126		2	4				60								1349	
	⑩のうち再生利用業者への処理委託量 ⑫	前年度実績																						0
		今年度目標		199	58	956	100	153		1					60								1527	
	⑩のうち認定熱回収業者への処理委託量 ⑬	前年度実績																						0
		今年度目標		26	18	18	35	125																222
⑩のうち認定熱回収業以外の熱回収を行う業者への処理委託量 ⑭	前年度実績																						0	
	今年度目標		76																				76	

(注) 産業廃棄物処理計画実施状況報告書(様式第二号の九)を提出する事業者は、本シートの前年度実績欄への記入は不要です。

(参考) 各項目の白抜き番号は、様式第二号の9 別紙2の項目番号です。